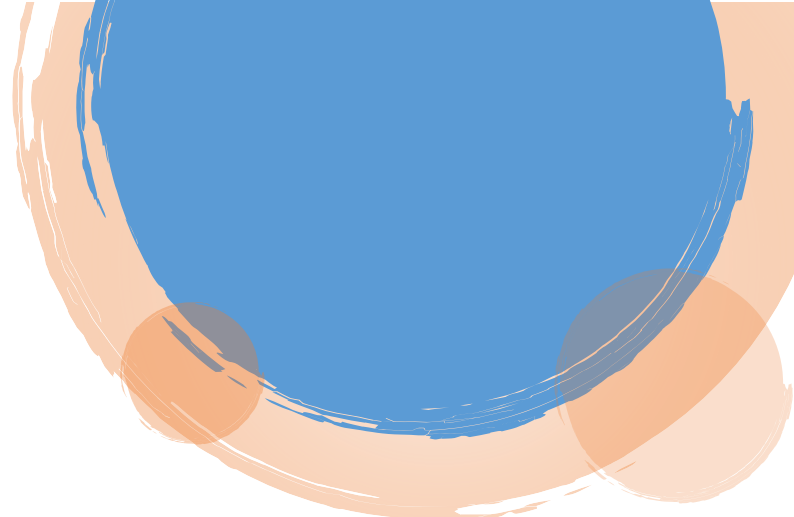




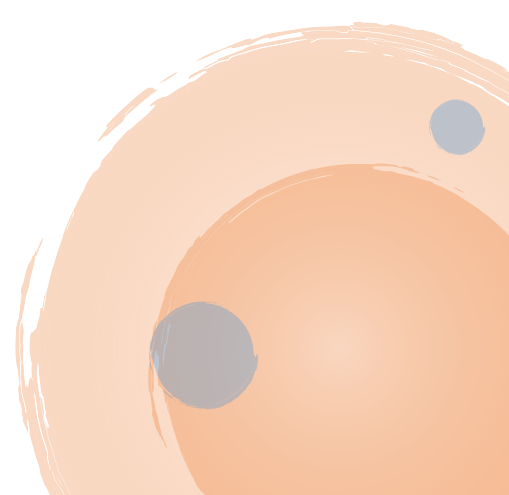
令和6年度沖縄県学力到達度調査

結果概要及び

各学年・教科の分析

本県児童生徒の学力の定着状況を把握するとともに

各学校における授業改善の充実に向けて



目 次

1	趣 旨	1
2	実施期日・対象学年・教科	1
3	調査結果及び概要	1
	(1) 小学校 (2) 中学校	
4	各教科における「記述式問題」について	2
5	各教科の授業改善に向けて	2
7	各教科分析	
	(1) 小学校	3
	(2) 中学校	11

令和6年度 沖縄県学力到達度調査の結果

沖縄県教育庁義務教育課

1 趣旨

- (1) 本県児童生徒一人一人の当該学年までの学習の定着状況を把握し、各学校における授業改善の充実を図るために実施する。
- (2) 各学年の教科分析を通して、自校の落ち込みのある領域を把握し、習得状況を揃える取組に生かす。

2 実施日・対象学年・教科

(1) 小学校

令和7年2月13日(木)～3月13日(木)

対象学年	教科
第5学年	国語、算数
第6学年	国語、算数

(2) 中学校

令和7年2月14日(金)～3月14日(金)

対象学年	教科
第1学年	数学、英語
第2学年	国語、数学、英語

3 調査結果及び概要

(1) 小学校（3/14時点）

対象学年	教科	受験した児童数(人)	正答率(%)	誤答率(%)	無解答率(%)	正答率30%未満の児童の割合%(昨年度値)
第5学年	国語	14,800	57.1	36.0	6.8	15.7 (7.7)
	算数	14,765	41.2	44.5	14.3	37.4 (7.3)
第6学年	国語	14,623	68.6	28.0	3.3	3.7 (6.1)
	算数	14,600	55.6	37.8	6.6	12.7 (22.6)

第5学年においては、算数の無回答率が10%を超えており、国語、算数ともに正答率30%未満の児童の割合が昨年度より増加している。

第6学年においては、昨年度より正答率30%未満の児童の割合が大幅に減少している。

(2) 中学校（3/17時点）

対象学年	教科	受験した生徒数(人)	正答率(%)	誤答率(%)	無解答率(%)	正答率30%未満の生徒の割合%(昨年度値)
第1学年	数学	13,811	28.1	59.0	12.9	62.4 (40.6)
	英語	13,709	48.1	46.6	5.4	22.0 (40.3)
第2学年	国語	13,905	45.8	45.4	8.8	17.9 (21.8)
	数学	13,788	27.8	54.2	18.0	63.2 (28.2)
	英語	13,777	51.5	43.5	5.0	20.0 (21.0)

第1学年においては、英語の正答率が高く、数学の正答率が30%を下回り、無回答率も10%を超えている。また、正答率30%未満の生徒の割合は、数学は昨年度より増加し、英語は減少している。

第2学年においては、英語の正答率が高く、国語と数学においては50%を下回っている。無回答率においては、数学が10%を上回った。正答率30%未満の生徒の割合では、国語と英語は昨年度より減少しているが、数学においては増加している。

4 各教科における「記述式問題」について

(1) 各教科における課題のみられる「記述式問題」

本県では、各種諸調査における記述式の設問において、誤答率や無解答率の値が大きくなる傾向がある。そのため、記述式問題における児童生徒の解答を分析し、授業改善に生かすことは重要である。

小学校 国語			
・物語文を読んで、読み取ったことを発表する文章を書く。	小5	3	六 正答率 25.8%
・読み取った登場人物の心情を発表する文章を書く。	小6	3	六 正答率 24.7%
小学校 算数			
・重さを比べ、百分率で表す求め方と答えを書く。	小5	1	(3) 正答率 10.4%
・正八角形の1つの角の大きさの求め方を書く。	小6	3	(4) 正答率 28.6%
中学校 国語			
・使用する資料の不適切であるものの理由を書く。	中2	2	(3) 正答率 6.6%
中学校 数学			
・目的地までにかかる時間の差をグラフを使って説明する。	中1	8	(2) 正答率 14.7%
・通話時間が何分になるとBプランがAプランより安くなるかを説明する。	中2	8	(2) 正答率 27.8%
中学校 英語			
・条件に従って、週末の過ごし方について紹介する。	中1	11	条件3 正答率 26.9%
・まとまりのある文章を読んで、自分の意見を述べる。	中2	10	(3) 正答率 22.2%

- ◆条件が提示されている設問について、「条件」の確認や、「誰に伝えるのか」「何のために伝えるのか」など、学習課題の目的を自分なりに捉え、解決に導くことに課題が見られる。
- ◆段落やまとまりなどで捉えることはできるが、全体を俯瞰して捉えて表現したり、自己を振り返ったりしながら解決に導くことに課題が見られる。
- ◆設問によっては、課題解決するために必要な既習事項の定着が不十分な部分も見られる。

(2) 「記述式問題」の課題からみえる授業改善のポイント

- ◆目的や「問い」等、自ら課題を明らかにし、条件に合うよう考え、表現する力の育成
- ◆課題解決に向けて学習の流れを見通したり振り返ったりしながら、学習を調整する力の育成
- ◆課題を解決するための既習事項の定着や、知識・技能の習得

5 各教科の授業改善に向けて

『「自立した学習者」育成プロジェクト』が示す、「授業改善4つの取組」や「令和7年度版各教科等の重点事項」を参考に、組織的に授業改善に取り組む。

「自立した学習者」育成プロジェクト

授業改善4つの取組

各学校の「目指す児童生徒像」やこれまでの取り組みの成果と課題を踏まえ、以下の4つの取組から選択し、実践を推進しよう。

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実

「学習基盤としてのICT」の活用

「指導と評価の一体化」の実現

「自学自習力」を育む取組の充実

「自立した学習者」育成プロジェクト

<https://sites.google.com/oken.ed.jp/okinawa-jiritsu-2025/%E3%83%9B%E3%83%BC%E3%83%A0>



各教科等の重点事項

令和7年度版
各教科等の重点事項
各教科等の特長に応じた学びの充実に向けて



沖縄県教育庁義務教育課

<https://sites.google.com/oken.ed.jp/okinawa-jiritsu-2025/%E4%BB%A4%E5%92%8C%E5%B9%B4%E5%BA%A6%E5%90%84%E6%95%99%E7%A7%91%E7%AD%89%E3%81%AE%E9%87%8D%E7%82%B9%E4%BA%8B%E9%A0%85>

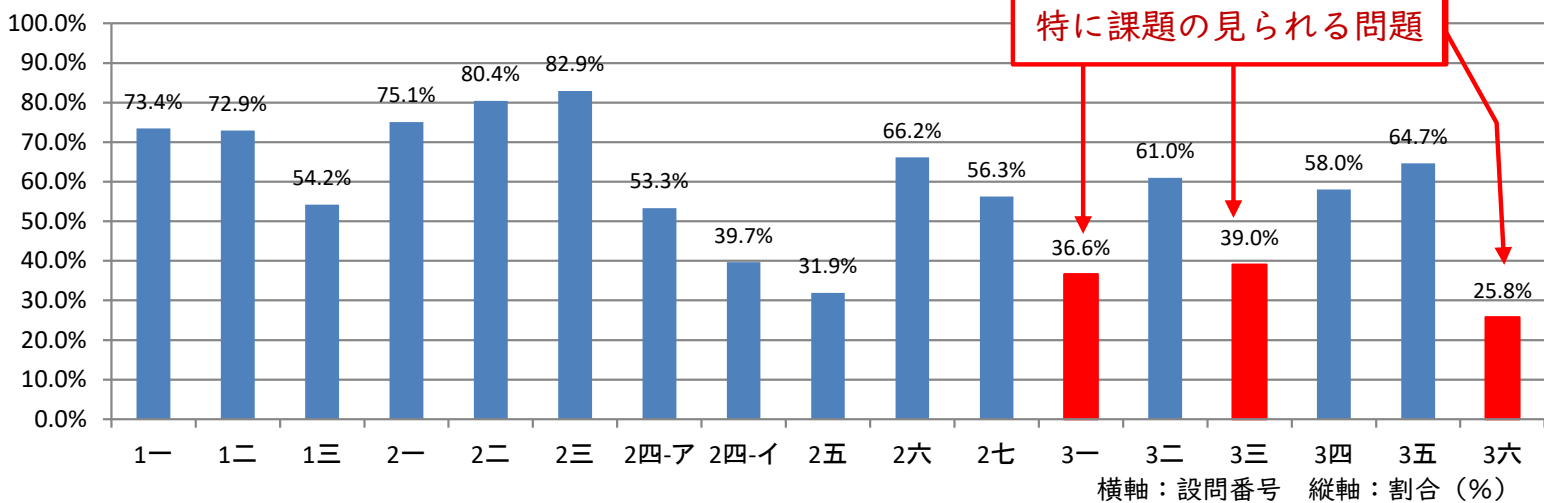


集計結果

◆ 設問ごとの正答率

平均正答率

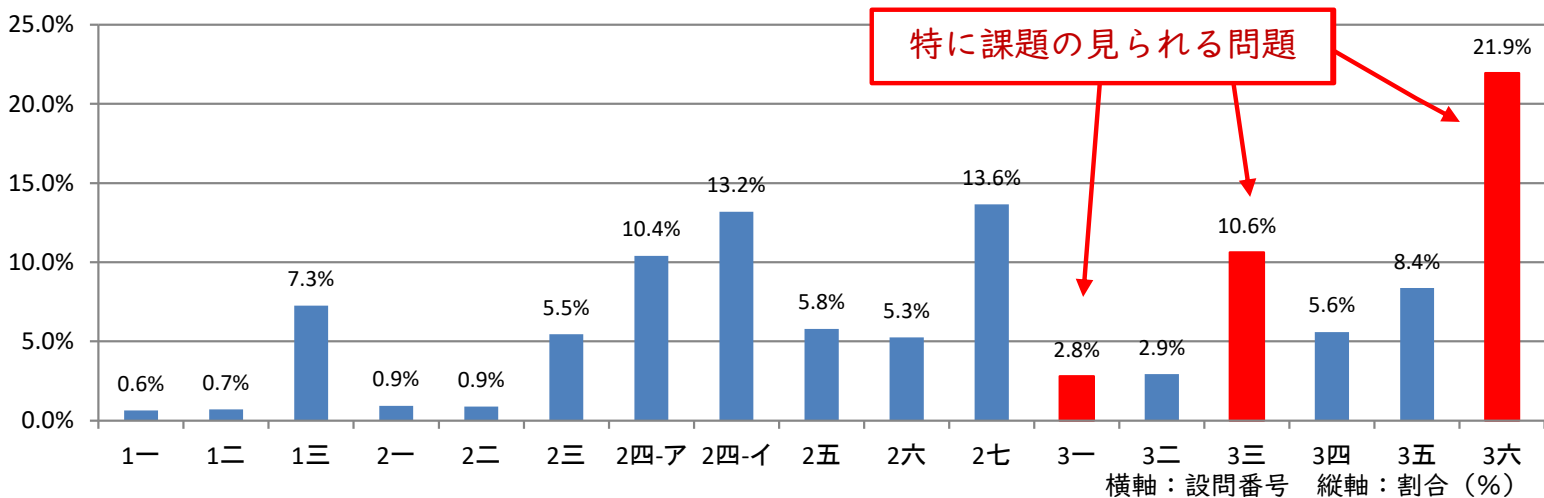
57.1%



◆ 設問ごとの無解答率

平均無解答率

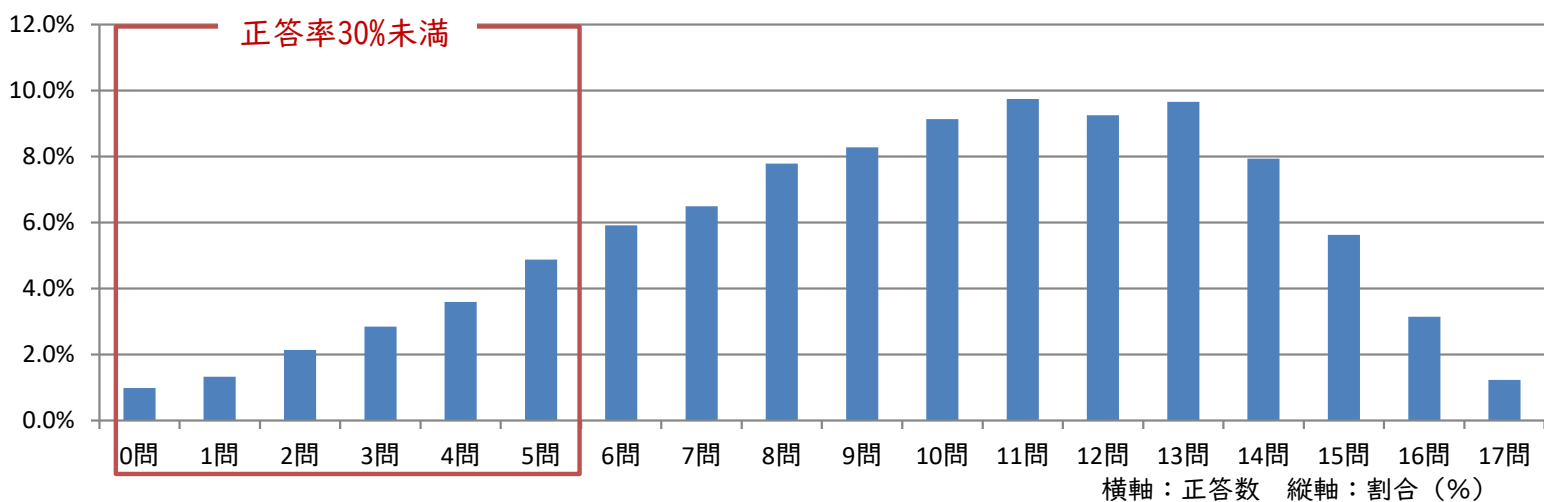
6.8%



◆ 正答数ごとの度数分布

正答率30%未満

15.7%



特に課題の見られる問題

問題

3

文章省略

「た」の主語として適切なものを
の1〜4の中から一つ選ん
で、その番号を書きましょう。

動物は
また
高い声と低い声が
合わさった声を

六 あなたは、「ぼく」の前に現れた動物について考えたことを、みんなの前で発表することになりました。

どのように発表しますか。

次の〈条件〉にしたがつて書きましょう。

●ていねいな話し言葉で書くこと。

●「『ぼく』の前に現れた動物は、」に続く形で、「残り命」という言葉を使って書くこと。

●四十字以上五十字以内で書くこと。（句読点や記号も字数に数えます。）

分析結果と課題

○大問3一の正答率は、36.6%、無解答率は選択制のため2.8%であるが、「文の中における主語と述語の関係を捉えること」に課題がある。

○大問3六の正答率は25.8%、無解答率は21.9%であり、本調査問題で最も無解答率が高かった。「人物像や物語の全体像を具体的に想像すること」に課題がある。

関連する問題

調査問題の種類	設問番号	問題の概要	県の正答率
令和6年度 全国学力・学習状況調査	大問3の 一	文の中における主語と述語の関係を捉えることができる。	26.5% (全国28.0%)
令和4年度 全国学力・学習状況調査	大問3の 三	不思議な物語を読んで、人物像や物語の全体像を具体的に想像することができる。	62.4% (全国68.3%)

授業改善のポイント



僕は、人物の関係に着目したよ。ここに「だれにも、教えたことがなかったのに。」「(ひょっとしたら、老人は六十年未来からやってきたぼく?)」と書かれているんだ。ここから、「老人」は未来の「ぼく」かもしれないと考えたよ。他にも二人の関係が分かるころはあるかな。



ほら、ここにも「先週、図工の時間に、ぼくが描いた宇宙船の絵にそっくりだった。」と書かれているよ。「ぼく」と「老人」が何か関係があることを遠回しに描いているのではないかな。

👉ポイント

登場人物の相互関係は直接的に描写されている場合もありますが、暗示的に表現されている場合もあります。登場人物の相互関係に基づいた行動や会話、情景などに注意して読むことを促し、捉えることができるように指導することが効果的です。



登場人物同士の関係は、物語全体を通して描かれている場合が多いですね。森田さんたちが気付いたように、登場人物同士の関係が分かる描写をいくつも見付けて考えることが大切です。

○登場人物の相互関係や心情などについて描写を基に捉える言語活動の場, 方法の工夫を！

【全文を掲載したシートの例（一部）】

[illegible]

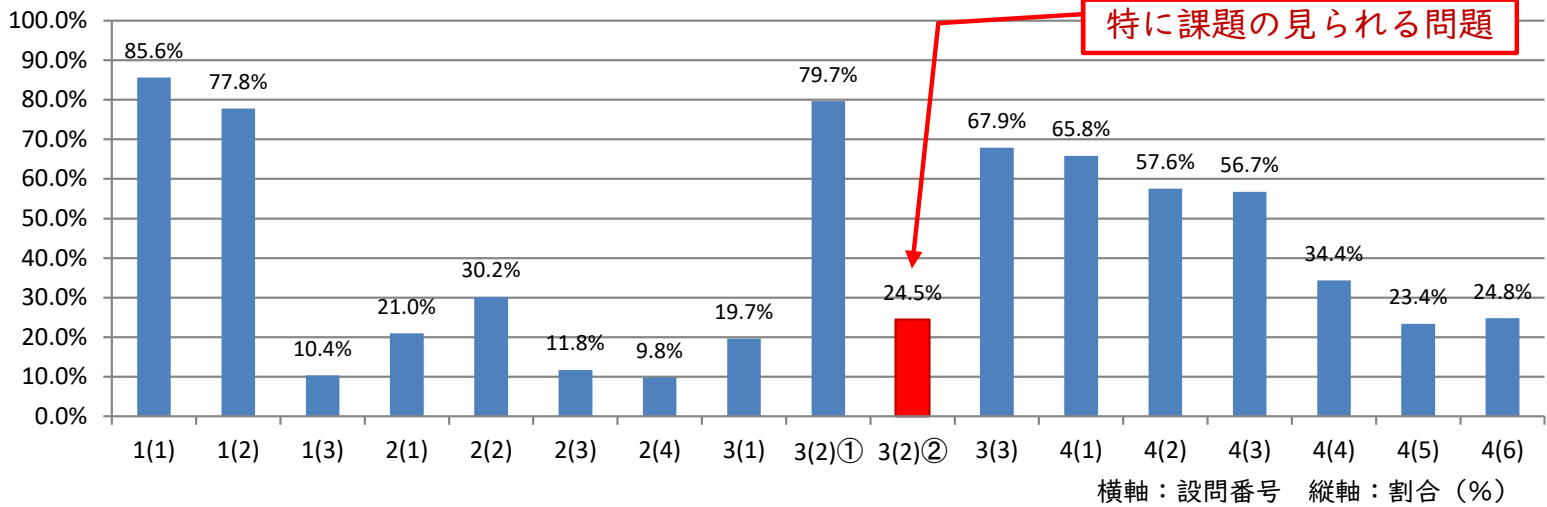
つがたり12か月 秋ものがたり』
 須田淳『銀色の幻想』による。
 収めたところがある。

集計結果

◆ 設問ごとの正答率

平均正答率

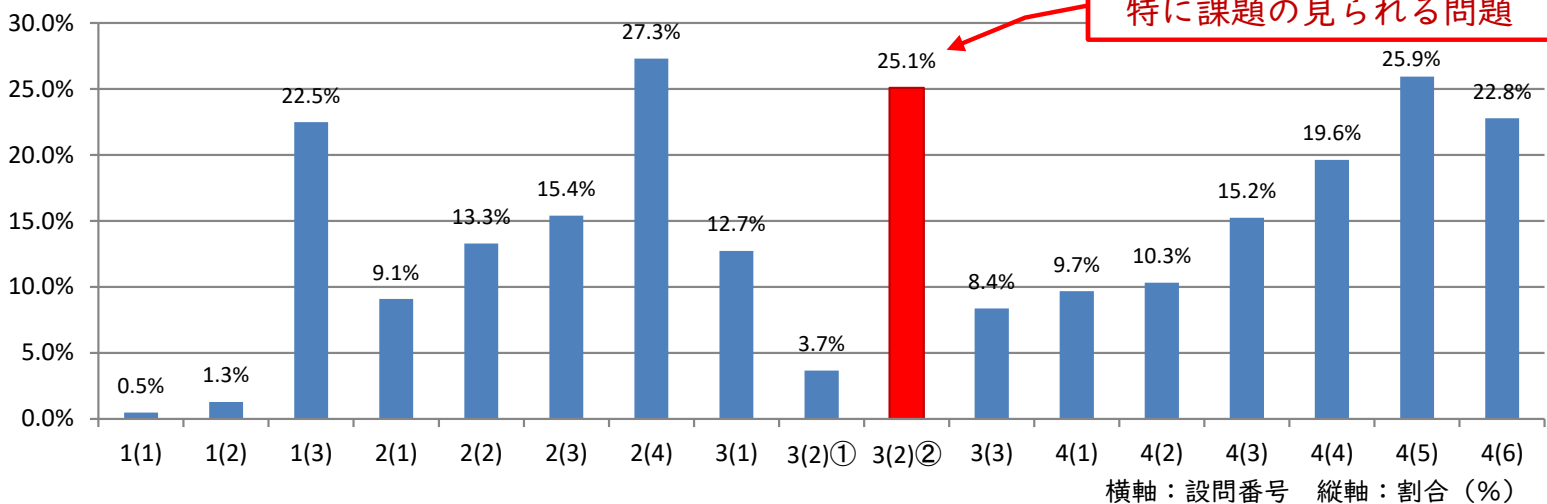
41.2%



◆ 設問ごとの無解答率

平均無解答率

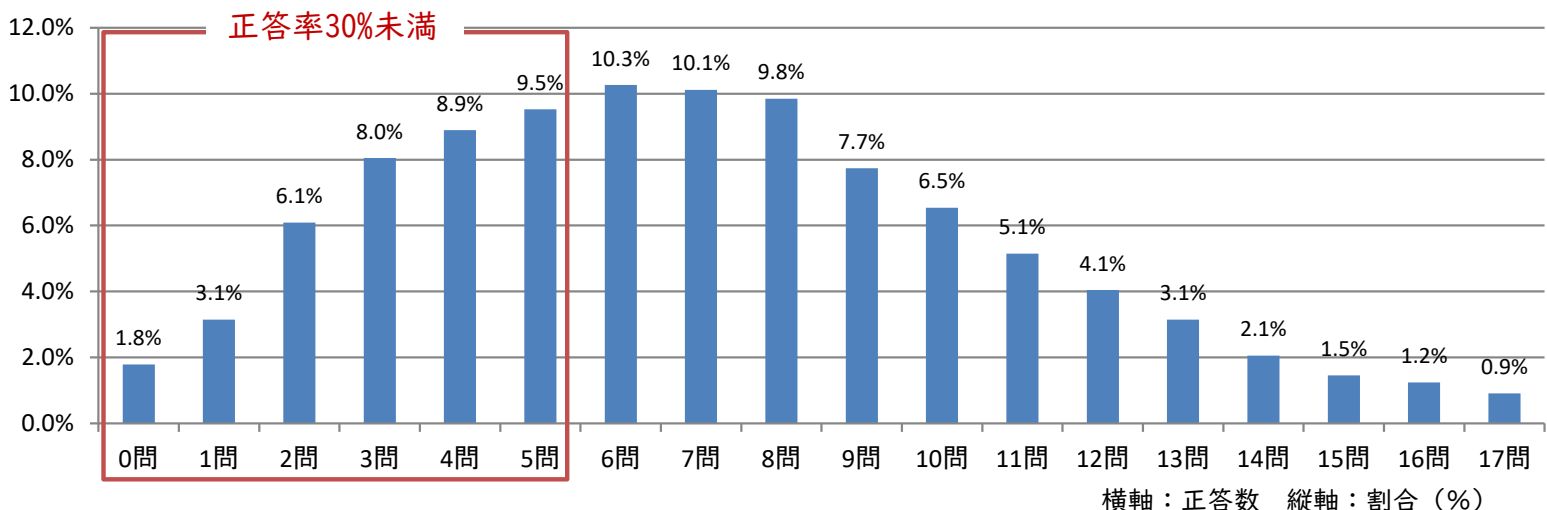
14.3%



◆ 正答数ごとの度数分布

正答率30%未満

37.4%



特に課題の見られる問題

◆ 問題 3 (2)②

(2) あいさんたちは、5 年 2 組の人全員に、夏休みに物語と伝記をそれぞれ図書館で借りたかどうかを調べました。下の表 1 は、その結果をまとめたもので、○は借りた人、×は借りていない人を表します。

表 1 物語と伝記を借りたかどうか (人)

		物語		合計
		○	×	
伝記	○	(ア)	5	18
	×	4	(イ)	14
合計		17	15	(ウ)

① 表 1「物語と伝記を借りたかどうか」の(ア)、(イ)、(ウ)にあてはまる数を書いて表を完成させましょう。

②物語を借りた人の中で、伝記も借りた人と伝記は借りてない人では、どちらがどれだけ多いですか。また、その求め方を、言葉と表 1 の数を使って書きましょう。

【正答例】

- ・ 求め方
物語を借りた人の中で、伝記も借りた人は、13人で、伝記は借りてない人は 4 人なので、 $13 - 4 = 9$ だから、物語を借りた人の中で、伝記も借りた人の方が 9 人多いです。
- ・ 答え
伝記も借りた人の方が 9 人多い。

◆ 分析結果と課題

[第 5 学年] D データの活用 3 (1)イ(ア) データを整理する観点に着目し、身の回りの事象について表やグラフを用いて考察し、見いだしたことを表現すること。

◆趣旨 二次元表からデータを読み取って比べることについて表現(説明)することができかどうかをみる。

○正答率 24.5%、無解答率 25.1% であり、データから読み取って比べることについて説明することに課題が見られる。

●誤答分析

①の二次元表の構成を理解し、必要な数値を求めることについて、正答率が 79.7% と、二次元表の構成を理解し必要な数値を求めることは、おおむねできていると捉えられることから、表から読み取った数を用いながら表現(説明)することに課題が見られると考えられる。

◆ 授業改善のポイント

数学的活動を重視した単元計画及び授業づくりで、数学的な思考力・判断力・表現力を育む。

- ①式は計算の結果を求めるための手段だけでなく、思考の筋道を表現する手段としても用いられる。表やグラフから読み取ったことを、目的に応じて式や言葉で表現(説明)することができるようにすることが大切である。
- ②思考の過程や結果など、数学的表現を用いて、対話的に伝え合い、お互いの考えをよりよいものにしていけることが大切である。

本問題を用いて授業を行う際には、表のどこに着目するか、その数からわかること等、表の構成や必要な数値の求め方を対話を通して理解していくことが大切である。また、事実を記述する問題であることから、説明する対象を一つ一つ明らかにして、記述することが求められる。

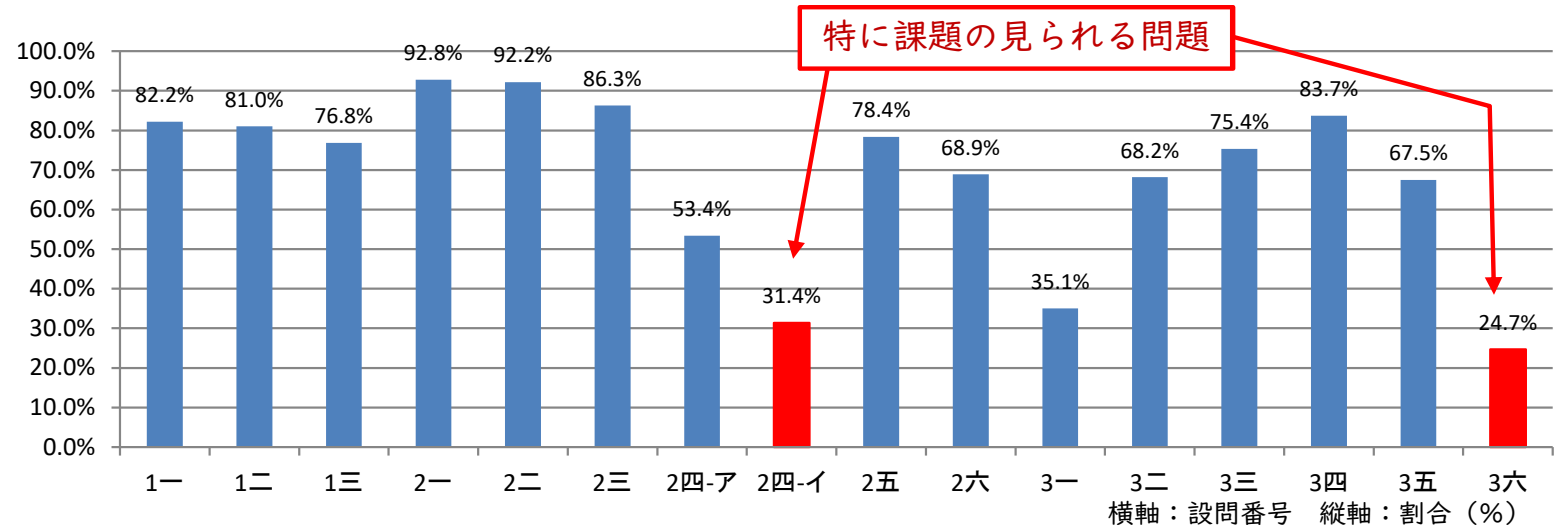
単元計画を立てる際に、数学的表現を用いて対話的に伝え合う場面設定が必要である。

集計結果

◆ 設問ごとの正答率

平均正答率

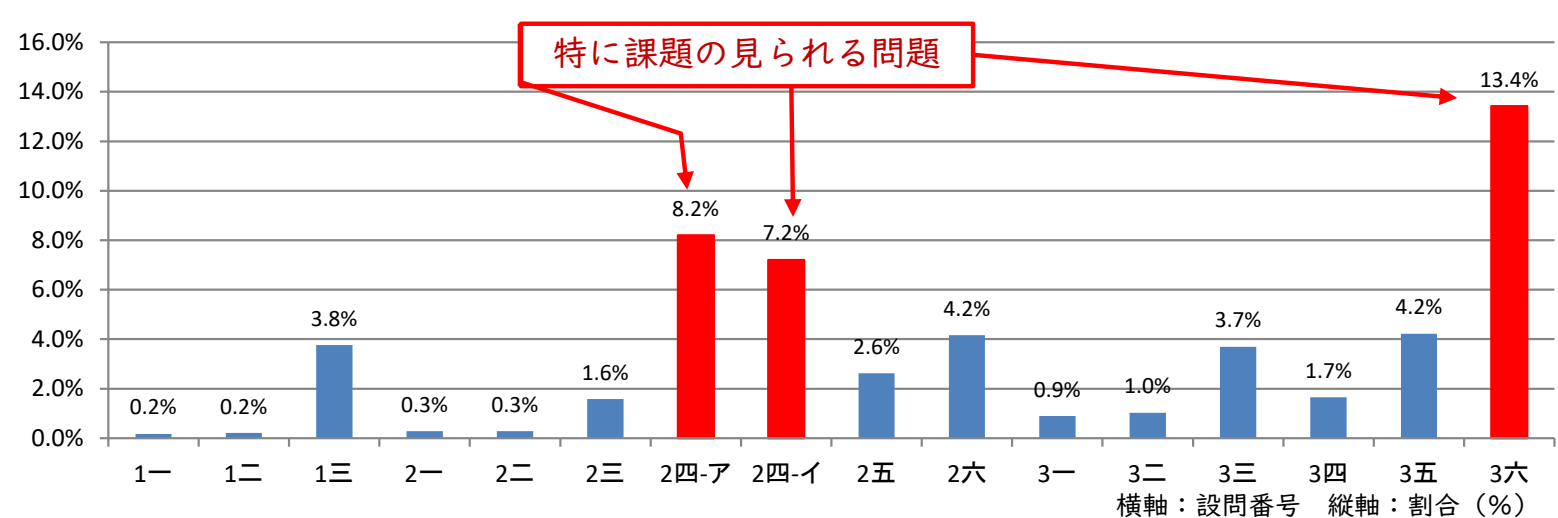
68.6%



◆ 設問ごとの無解答率

平均無解答率

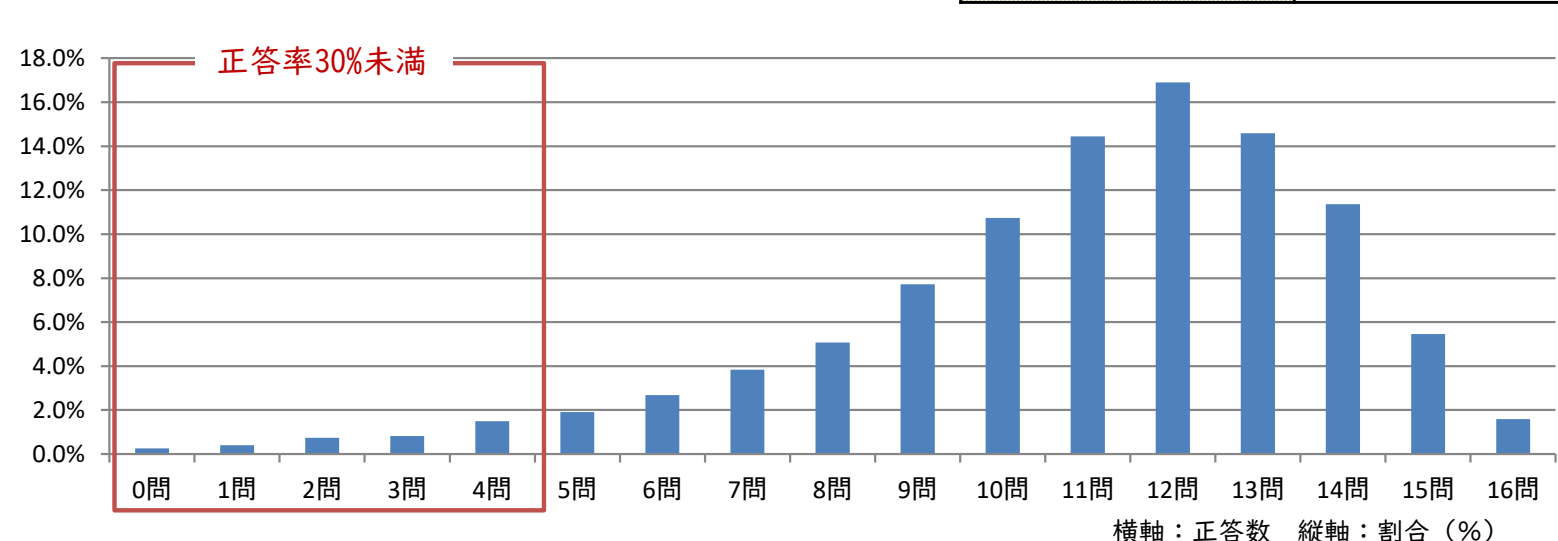
3.3%



◆ 正答数ごとの度数分布

正答率30%未満

3.7%



特に課題の見られる問題

問題

2 文章省略

四 川上さんは、【川上さんの文章】を読み返し、習っている漢字がひらがなになっていたり、部ア、イを漢字に書き直すことにしました。次の部アを漢字で、イを漢字と送り仮名で書きましよう。

3 文章省略

六 あなたは、「やっぱり橘さんの山岸さんの気持ちを考えて、みんなの前で発表することになりました。どのように発表しますか。次の〈条件〉にしたがって書きましよう。

〈条件〉

- ていねいな話し言葉で書くこと。
- 山岸さんの気持ちの変化とその理由を考えて、「ウサギ」「千花」という言葉を使って書くこと。
- 五十文字以上六十文字以内で書くこと。（句読点や記号も文字数に数えます。）

毎日の練習の成果を^アはっきして、…

成績を^イおさめることができたのは、…

分析結果と課題

- 大問2四イの正答率は、31.4%、無解答率は7.2%であり、「学年配当漢字を文脈の中で正しく使うこと」に課題がある。
- 大問3六の正答率は24.7%、無解答率は13.4%であり、本調査問題で最も無解答率が高かった。「人物像や物語の全体像を具体的に想像すること」に課題がある。

関連する問題

調査問題の種類	設問番号	問題の概要	県の正答率
令和 6 年度 全国学力・学習状況調査	大問 2 の 三ア	学年別配当漢字表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができる。（同音異義語）	40.7% (全国43.6%)
令和 4 年度 全国学力・学習状況調査	大問 3 の 三	物語を読んで、人物像や物語の全体像を具体的に想像することができる。	62.4% (全国68.3%)

授業改善のポイント

※物語を読むことの授業改善ポイントについては、5学年の分析報告も参考にしてください。

- 同音異義語など、日常生活の中で適切に使うことができるような学習場面の設定を！

例えば…

同じ音（訓）で読む漢字を集める
同じ音（訓）で読む漢字を集めたり、その意味を辞書で調べたりする活動を取り入れる。

タブレット端末の文章作成ソフトの変換機能を日頃から意識的に活用するように促すなど。

例えば…

似た形の漢字を集める
同じ部分をもつ漢字や似た形の漢字を集め、辞書で「つくり」による意味の違い、「へん」による意味の違いなどを調べる活動を取り入れる。

例えば…

間違えやすい漢字を集める
児童が辞書を引いたときや、日常生活の中で見付けた、間違えやすい漢字を紹介し合う活動を取り入れる。児童が自分たちで見付けることで、漢字を正しく使おうとする意識を高めることにつなげていく。

集めた漢字は、カードや短冊にして教室に掲示するなど、日常生活の中で児童が漢字に触れることができるように、言語環境を整えることが大切である。その際、読み仮名、送り仮名を書き込んだり、それぞれの漢字を使った例文も書き加えたりして、文脈の中で使い分けることができるようにする。

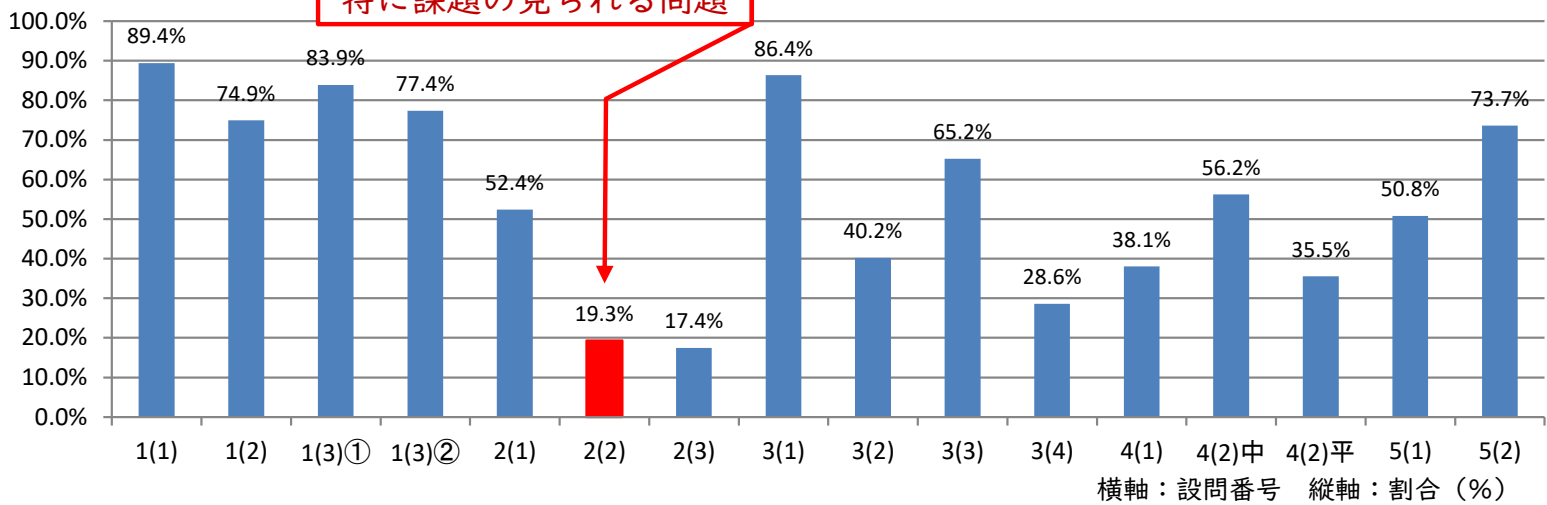
集計結果

◆ 設問ごとの正答率

平均正答率

55.6%

特に課題の見られる問題

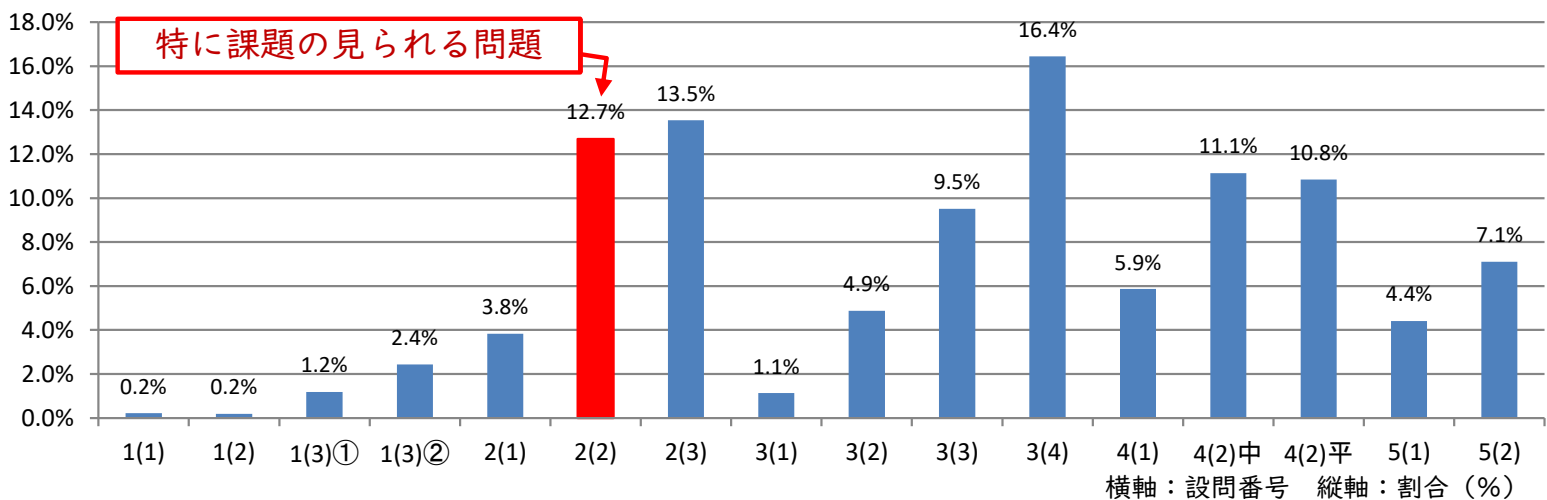


◆ 設問ごとの無解答率

平均無解答率

6.6%

特に課題の見られる問題

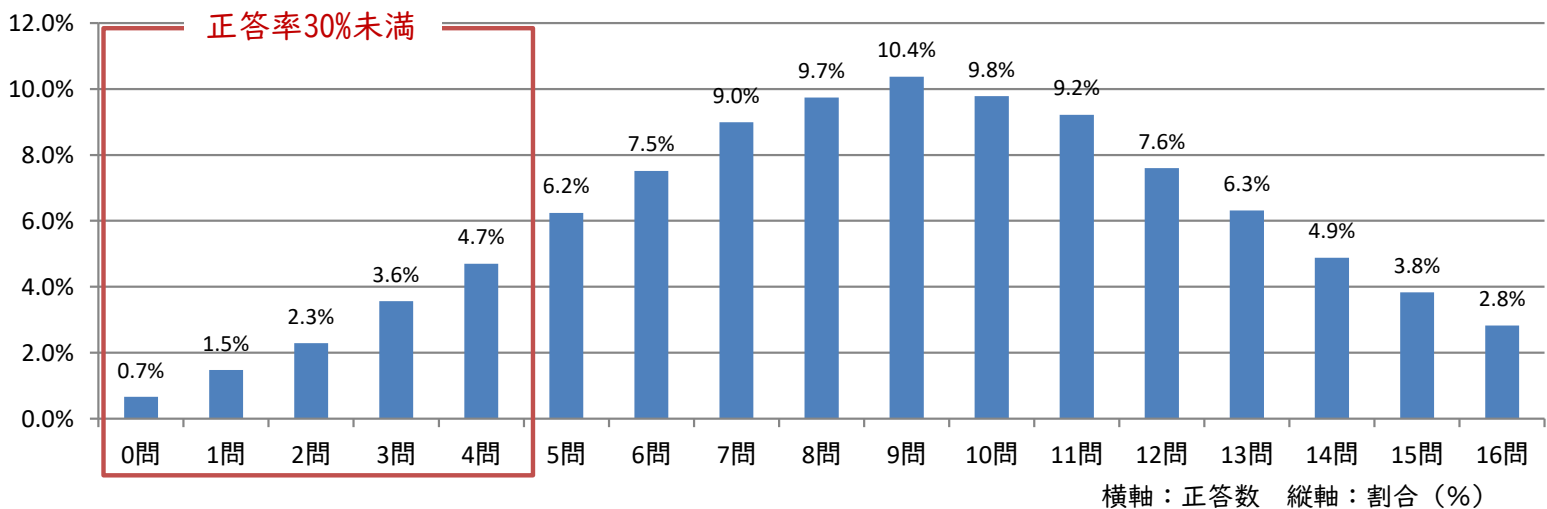


◆ 正答数ごとの度数分布

正答率30%未満

12.8%

正答率30%未満



特に課題の見られる問題

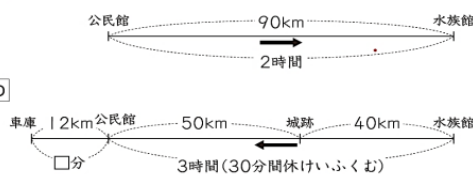
◆ 問題 2 (2)

えいたさんたちは、子ども会の行事で公民館に集合して、バスで水族館に行きました。行きの公民館から水族館までは、バスは高速道路とふつうの道路を合わせて 90km の道のりを走って、公民館を出発してから水族館に着くまでに 2 時間かかりました。

帰りの水族館から公民館までは、バスは別の道を通り、とちゅうで城跡（ぐすく）によりました。水族館から城跡まで走った道のりは 40km、城跡から公民館まで走った道のりは 50km です。水族館を出発してから公民館に着くまでに、城跡で 30 分間休んだ時間を入れて、3 時間かかりました。

行き

帰り



(2) えいたさんたちが公民館に帰ったあと、バスは車庫にもどります。帰りのバスが水族館から城跡まで走った速さと、城跡から公民館まで走った速さは同じです。この速さで、公民館から車庫までの 12km の道のりを走るのに何分かかりますか。

答えを書きましょう。

【正答例】 ・ 答え 20分

問題にある図を用いて、問題文の理解や立式、答えを確かめるなど図と式を照らし合わせながら考え、表現する。

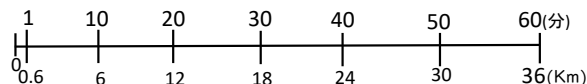
・ 求め方

帰りの時速は、 $90 \div 2.5 = 36(\text{km})$

分速は、 $36 \div 60 = 0.6(\text{km})$

公民館から車庫までの道のりは 12km であることから

$12 \div 0.6 = 20(\text{分})$



◆ 分析結果と課題

〔第 6 学年〕 C 変化と関係 5 (2) ア(ア) 速さなど単位量当たりの大きさの意味及び表し方について理解し、それを求めること。

◆趣旨 速さの意味について理解し、道のりに対してかかる時間が求められるかどうかをみる。

○正答率 19.3%、無解答率 12.7% であり、速さの意味の理解及び表すことに課題が見られる。

●誤答分析

(1) の速さを比べ、その理由を記述する問題において正答率 52.4%、無解答率 3.8% であることから速さの意味や求めることに課題があることがうかがえる。本問題においても速さの意味の理解及び表すこと、時速から分速への単位換算が不十分であったと考えられる。

◆ 授業改善のポイント

数学的活動を重視した単元及び授業づくりで、知識及び技能の定着を図る。

- ① 速さの学習では、児童の日常生活の場面と関連付けて、速さのイメージを持つことができるようにすることが大切である。
- ② 速さを求める除法の式と商の意味を数直線や図などを用いて考え、説明し合う場面を通して、速さの意味理解や手続きの定着を行うことが大切である。

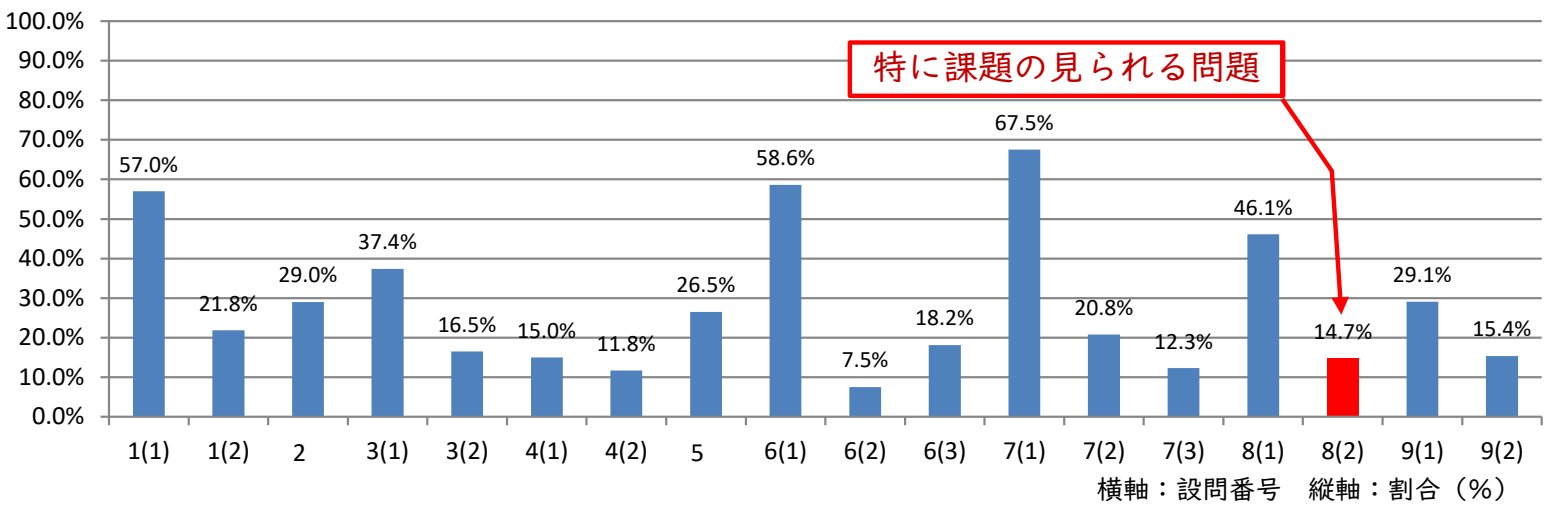
本問題を用いて授業を行う際には、まず、数直線や図を用いて問題の場面や内容の理解を図り、行きと帰りが同じ道のりであることや、かかった時間の違いなどに着目して、速さを判断できるようにすることが大切です。また、速さを公式によって求めることを学習した後も、単位量当たりの意味に基づき、速さを比べる活動や目的に合わせて単位換算する活動を取り入れることが大切である。

集計結果

◆ 設問ごとの正答率

平均正答率

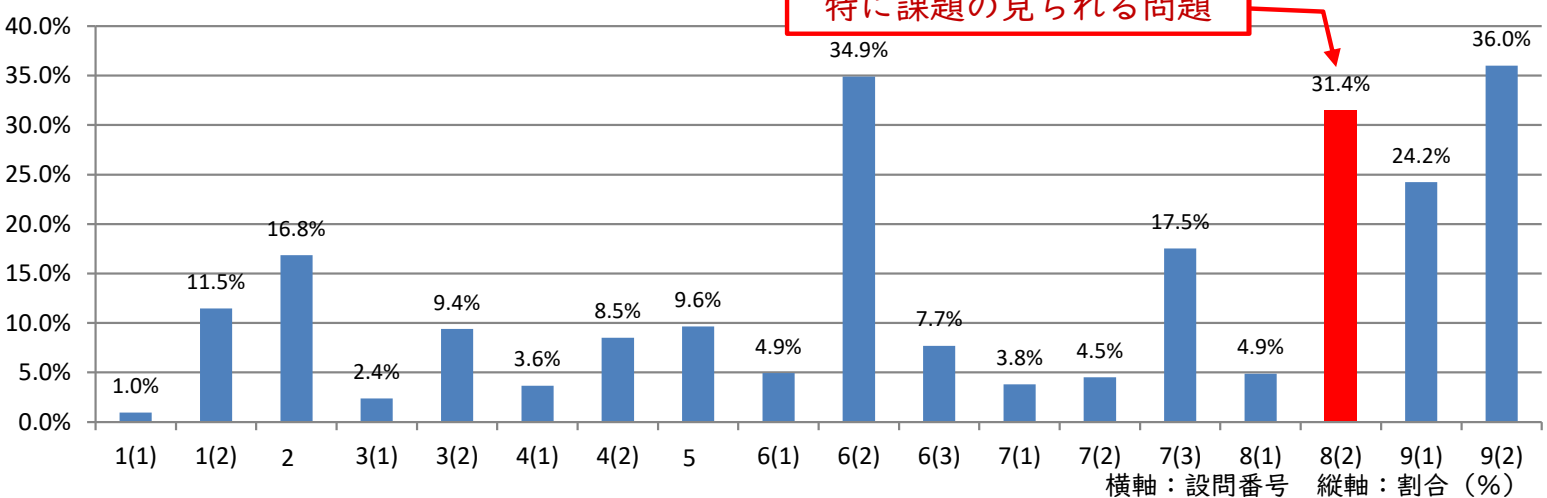
28.1%



◆ 設問ごとの無解答率

平均無解答率

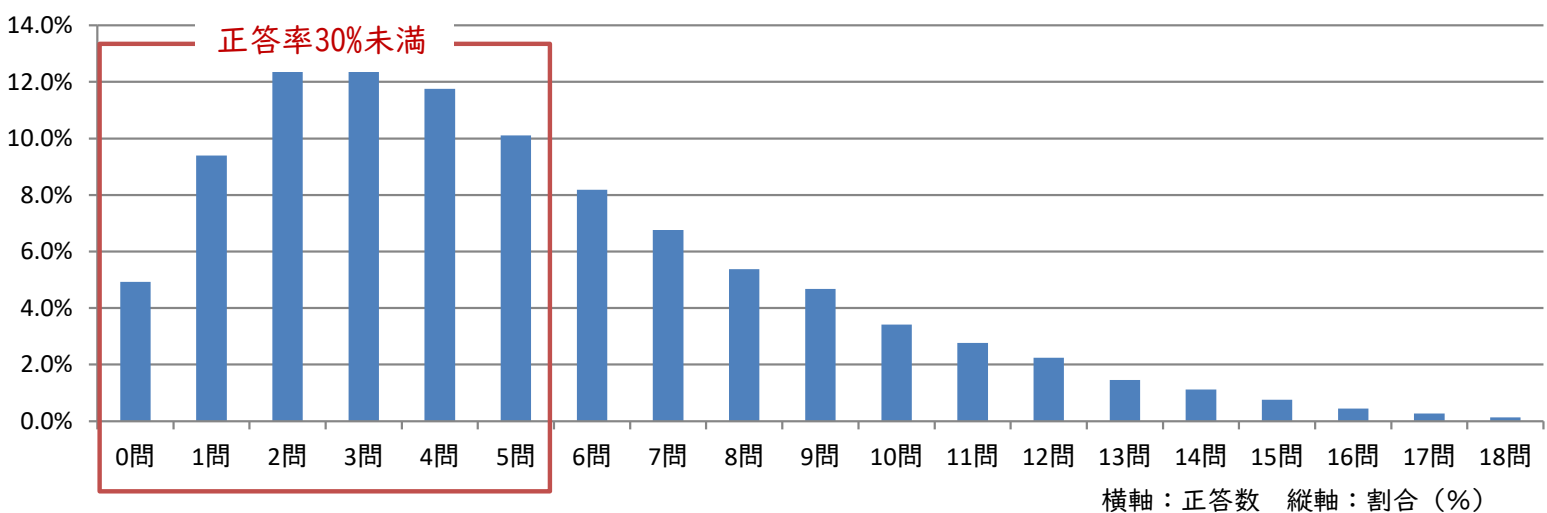
12.9%



◆ 正答数ごとの度数分布

正答率30%未満

62.4%



特に課題の見られる問題

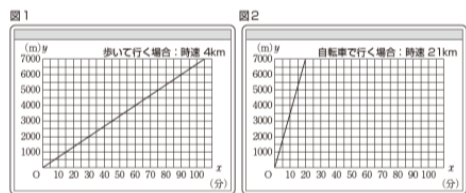
◆問題 8(2)

奈美恵さんの家から首里城までは 7km 離れています。

奈美恵さんは、家から首里城まで行くのにかかる時間を、歩いて行く場合、自転車で行く場合、の 2 つの場合について、一定の速さで進んだときにかかる時間を調べることにしました。

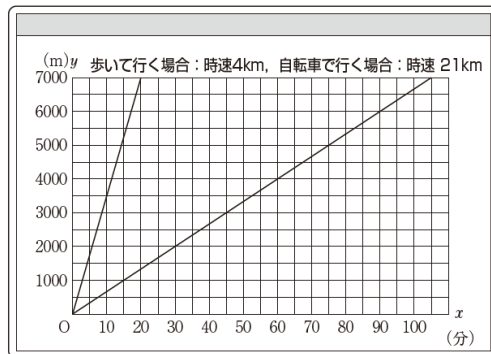
そこで、奈美恵さんはコンピュータを使って、家を出発してから x 分後に、家から y m の場所にいるものとして、 x と y の関係をグラフに表すことにしました。コンピュータには速さを入力すると、自動でグラフをかく設定がされています。

図 1 は時速 4km の速さで歩いて行く場合のグラフ、図 2 は時速 21km の速さで自転車で行く場合のグラフです。



(2) 奈美恵さんは、家から首里城まで歩いて行く場合と自転車で行く場合にかかる時間の差を、2 つの直線を 1 つのグラフの中にかくことで求めることができることに気づきました。図 3 を用いて、その方法を説明しなさい。ただし、実際にかかる時間の差を求める必要はありません。

図 3



◆分析結果と課題

[第 1 学年] C 関数 (1)イ(イ) 比例を用いて具体的な事象を捉え考察し表現すること。

◆趣旨 事象を数学的に考察し、問題解決の方法を数学的に説明することができるかどうかをみる。(「用いるもの」を明確にした上で、その「用い方」を記述する)

○正答率 14.7%、無解答率 31.4%であり、問題解決の方法をグラフを用いて説明することに課題の見られる。

●誤答分析

x の値ではなく y の値に着目したり、表現が不十分であったりする誤答が考えられる。

◆指導改善のポイント

★問題解決のために数学を活用する方法を考え、説明できるようにする。

様々な問題を数学を用いて解決できるようにするために、問題解決の構想を立てたり、問題解決の過程や結果を振り返ったりする活動を取り入れることが大切である。その際、数学を活用する方法を説明できるように指導することが大切である。

本設問を使って授業を行う際には、家から首里城まで「歩いていく場合」と「自転車で行く場合」にかかる時間の差(違い)はどのくらいになるのかを求める方法について、2 つのグラフをどのように用いればよいかを説明する場面を設定することが考えられる。このとき、グラフを用いる場合について、次のような説明ができるようにすることが大切である。

〈グラフを用いる場合〉

「歩いていく場合」と「自転車で行く場合」の 2 つのグラフについて、 y の値が 7000 のときの x の値の差を求めればよい(y 座標が 7000 のときの 2 点間の x 軸方向の距離を読む)。

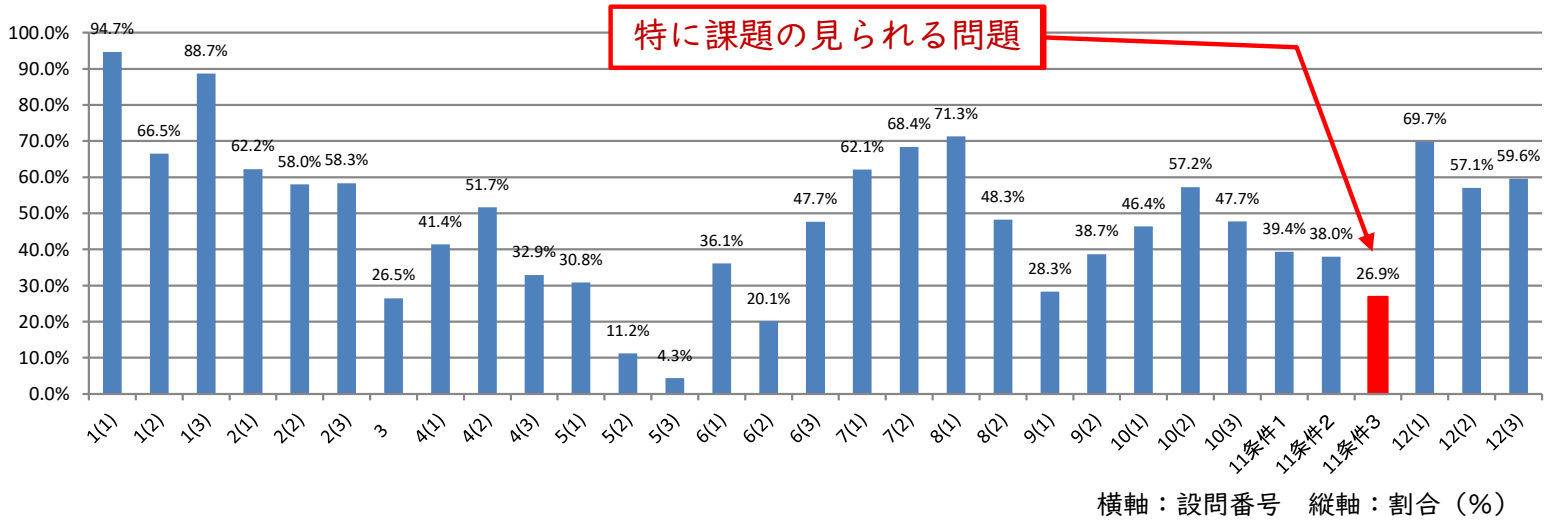
このような説明ができるようにするためには、例えば、使用時間の違いを求めた後にその方法を説明する活動を取り入れることが考えられる。その際、解決の方法として表現が不十分な説明を取り上げて、問題解決の見通しを共有した場面や使用時間の違いを求める過程を共有した場面を振り返りながら、十分な説明にしていく場面を設定することが考えられる。また、グラフだけでなく、式を用いる方法についても説明ができるよう、あわせて指導していく必要がある。

集計結果

◆ 設問ごとの正答率

平均正答率

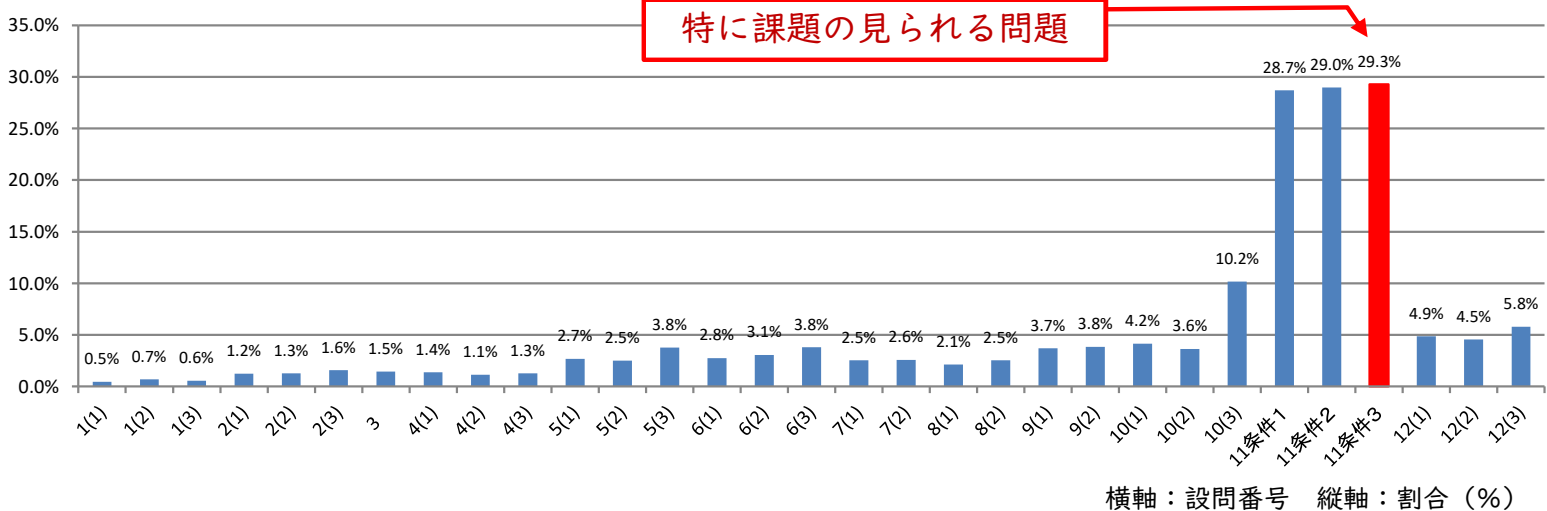
48.1%



◆ 設問ごとの無解答率

平均無解答率

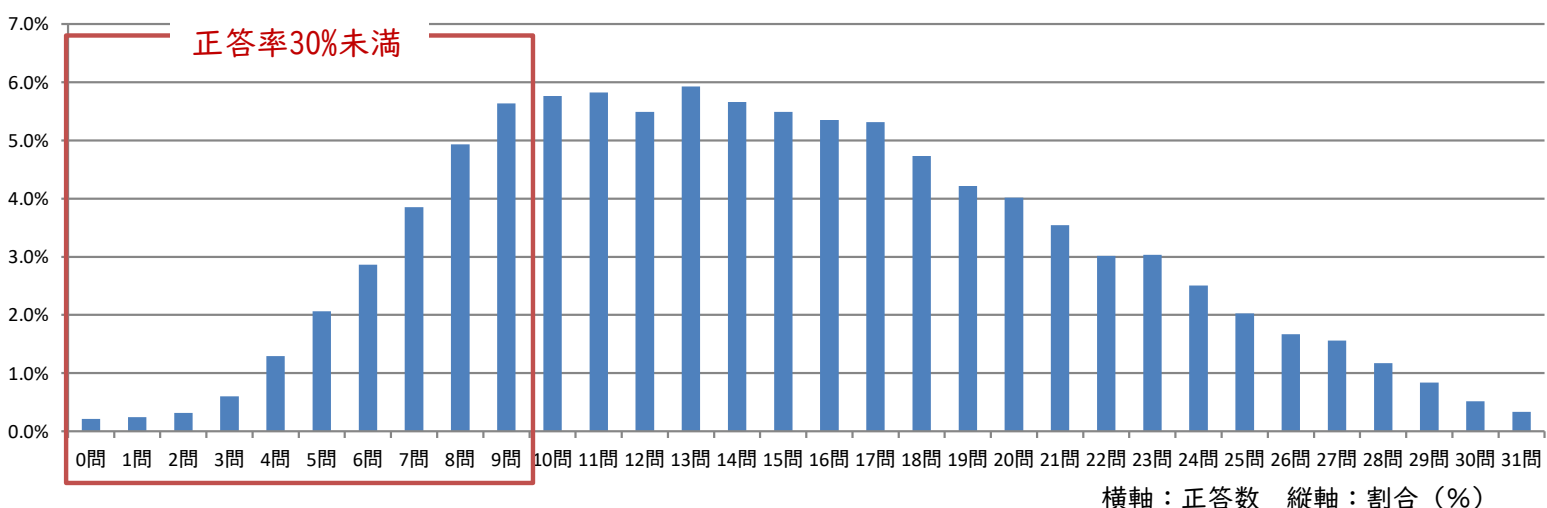
5.4%



◆ 正答数ごとの度数分布

正答率30%未満

22.0%



特に課題の見られる問題

◆ 問題

- 11 あなたの家にホームステイをする予定の、アメリカに住む中学生のジェニー(Jenny)は、日本の文化にとっても興味があり、あなたの家族と過ごすことをとても楽しみにしています。ある日ジェニーから、あなた(またはあなたの家族)は、週末はどのように過ごしているのかとメールで尋たずねられました。以下の条件に従って、英語でまとまりのある文を書きなさい。

- 条件1: 主語・動詞を含む15語以上の英文で書くこと。
ただし、符号(.,?!)などは語数に数えない。また、文の数は問わない。
条件2: 週末は普段どう過ごしているのか書くこと。
条件3: 日本の文化に興味があるジェニーといっしょにしたいことや挑戦してみたいことなど提案する文を書くこと。

特に課題

◆ 分析結果と課題

正答率 26.9% 無回答率 29.3%

- 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことに課題がある。

◆ 授業改善のポイント

学習指導要領(平成29年告示)解説
第2章 外国語科の目標及び内容 カ 書くこと(ア)(イ)P66,67 より

「書くこと」が苦手な生徒には、何をどのように書けばいいのかを指導する必要がある。

自分の考えや気持ちを
ペアやグループで口頭で伝える活動

日頃から
言語活動の
設定を
しましょう!

その内容を書いてまとめる活動

実際に書く活動を行う前には・・・

手本となるような文章を
数多く提示する

クラウドを活用
して他者参照
できる環境づく
りも大切です!

その表現を活用したり入れ替えたり
しながら書き方を学ばせる

その後、自分の力で書くことが
できるようにする

様々な形式により、自分の考えや気持ちなどが伝わるように文章を書くためには、時間の確保や、メールなどの操作・練習のためのICTを活用した活動の充実が必要である。

令和5年度全国学力・学習状況調査調査結果を踏まえた
学習指導の改善・充実に関する指導資料
～学習過程を意識した授業づくり～

https://www.nier.go.jp/kaihatsu/shidousiryoku/eigo/pdf/r07eigo_All.pdf



【入之内昌徳調査官資料より】

■ 普段の授業を振り返ってみましょう

- 1 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などを明確に設定して言語活動を行っていますか
- 2 日常的な話題や、社会的な話題を取り上げる等、題材の工夫をしていますか
- 3 即興で伝え合うやり取りを授業で行っていますか
- 4 聞いたり読んだりしたことについて、話したり書いたりするなどの領域を統合した言語活動を行っていますか
- 5 言語材料を言語活動と効果的に関連付けて適切に指導していますか

■DeepL write(AIを活用した文章作成アシストツール)を活用した例
※スペルや文の誤りをチェック、語句や文の書き換え候補を確認することができます。

【添削前】 I usually cooking on Sunday.
Do you know onigiri? It's rice ball.
Let's cook onigiri together!

【添削後】 I usually cook on Sundays.
Do you know onigiri? It's a rice ball.
Let's cook onigiri together!

令和7年2月に公表されました最新の指導資料です。
映像資料と指導資料が掲載されています。御活用ください!!

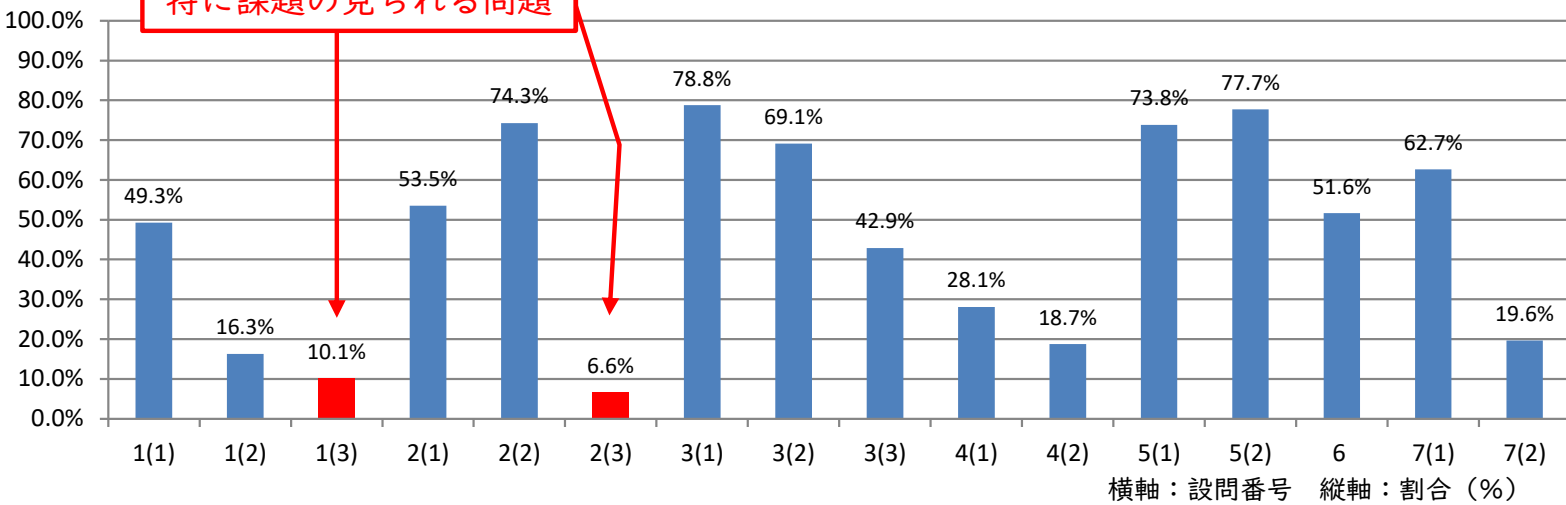
集計結果

◆ 設問ごとの正答率

平均正答率

45.8%

特に課題の見られる問題

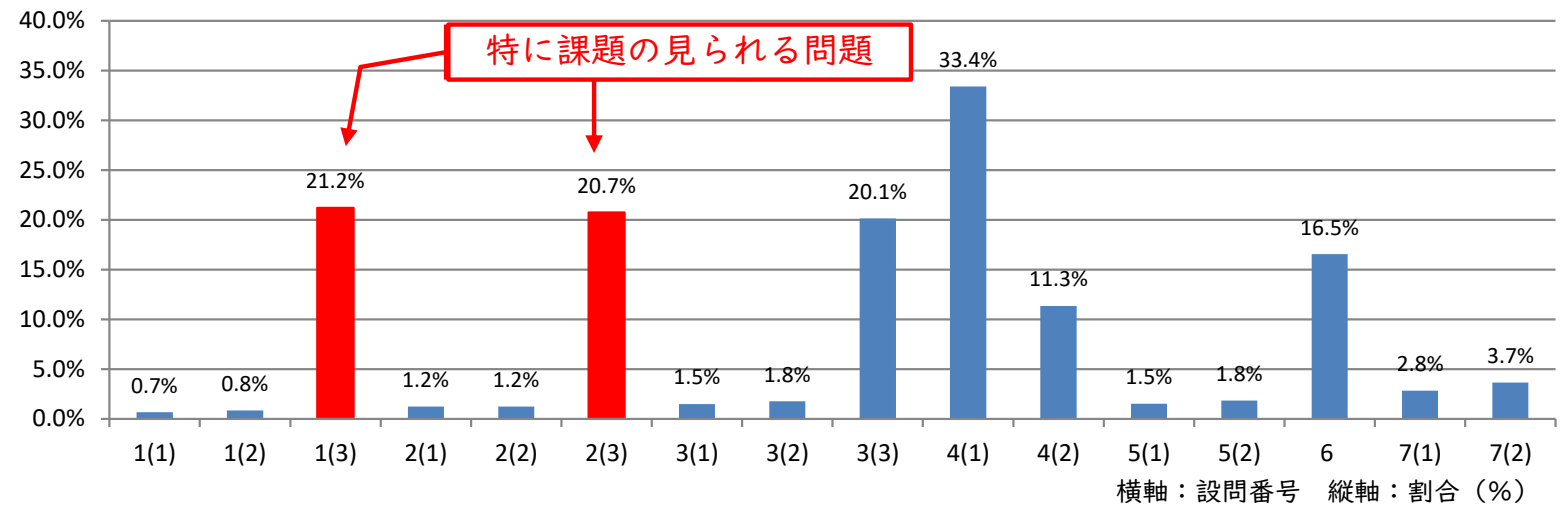


◆ 設問ごとの無解答率

平均無解答率

8.8%

特に課題の見られる問題

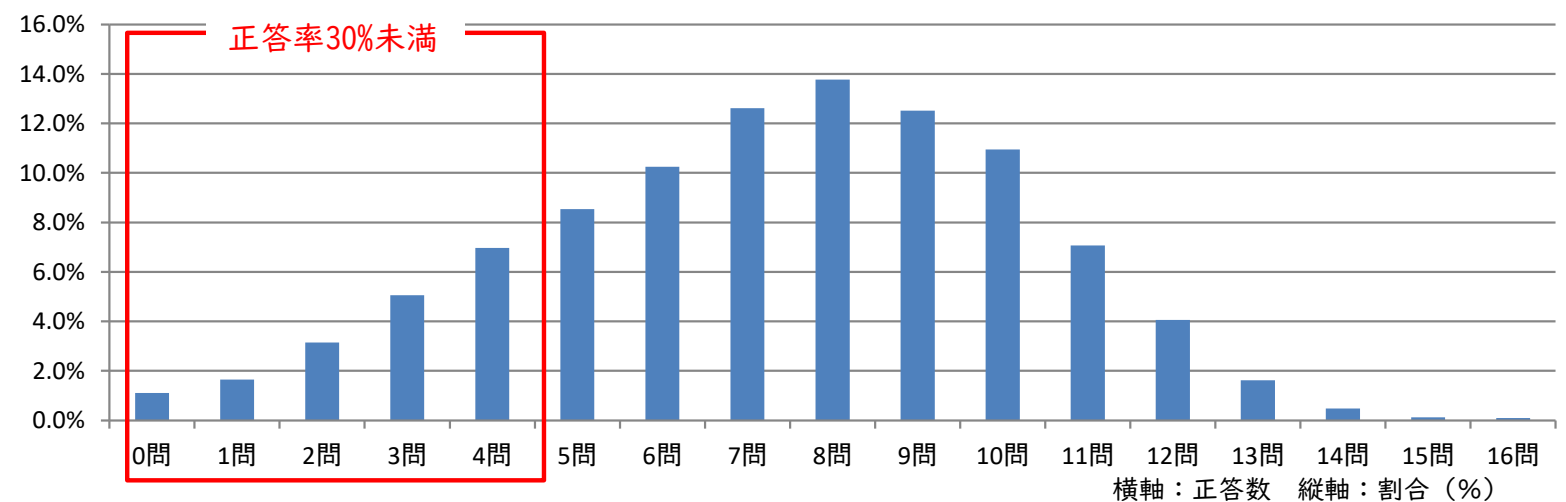


◆ 正答数ごとの度数分布

正答率30%未満

17.9%

正答率30%未満



特に課題の見られる問題

◆ 問題

2

星見文の下は青い

① 皆んなで考えているような場面や状況として現れる商品としての「ストーリー」をここで言うが、私たちが知るAIロボットは、いわゆる「ストーリー操作」としてのことであり、AIとの問答や思考過程などは正確でなく、主観的なAIの物語としてしかあらわれない。おもしろい事象としては、実際に使った物やサポートをした人が「あれは自分のお話だ」と思っていることである。

② 現在はインターネットとは全く別の空間にあり、さまざまな方法で各個人が独自の「サポート」を受けたり提供したりしている。その中でまず、思春期と成熟後の「治療」を受けることがあらず、人間の個性や能力とかがあるのです。サポートが人間に存在するとはできません。このような場面で、子どもたちの創作活動として学んでいる人々の世界では、私たちが知っているような形で表現されているようにも感じられる。

③ 私たちは、人間よりもはるか速いスピードで膨大な情報を活用したりすることがあります。そう聞くと、AIロボットの力は万能のはずだと誤解されがちです。でも、AIロボットの力には万能ではなくて決まっている。代わるところではむしろ、平面的なような場所が優勢になりやすい。人間の手助けがなければたどることができないことは、患者さんのコミュニケーションスキルや心理療育への配慮などでは逆ですね。

④ 「私たちの足元においては、私たちがAIロボットは、人間の顔型と同じく、AIロボットが人手と変わらない。よりよい未来をつづいていく。」

【調べたこと】

A 教育向けのアI先生ロボットが先生の負担を減らすのに役立っている。AIは膨大な情報を有しているため生徒が授業の中で感じた疑問に即座に答えることができる、生徒の好奇心を満たしてくれる。反面、授業を盛り上げる冗談を言ったり、ふざけている生徒を注意しろということはできない。このような場面では人間の先生の技術がまだまだ必要である。（『教えて、AI先生』井出愛子）

B オンラインストア運営企業「ダンク」は、顧客からの問い合わせに回答するカスタマーサポートの業務をAIに担当させ、問題の解決時間が2時間以上も短縮された。そこで、サポート業務をしていた人間の9割を業務から外し、その分の経費を他の事業に回し売り上げを増やすことに成功した。（インターネット記事による調査 <https://www.●●●.com> ■■■■■■

C 私たちとAIの間隔の方は、これからはますます増していくと思うんだ。映画やアニメの中登場したような、自分自身の意思を持つAIロボットが実際に私たちの社会に入り込め、人間と同様の立場で生活すると聞いたことが実現したら、きっと面白くない中にもなるだろうね。でもそれと来ないときに一体どんな変化があるのか、考えると楽しくなるよ。（テレビドラマの登場人物のセリフ）

(3) 比嘉さんは、(4)段落の「これから時代〜必要なのです。」という部分について、「調べたこと」のAを用いて説明を付け加えるほうが適切だと判断して、書き直すことにしました。
【調べたこと】のBとCが不適切な理由を書きなさい。

[illegible]

◆ 分析結果と課題

○ 1 (3) 読むことイ 目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得て、内容を解釈すること。

県平均正答率：10.1% 無回答率21.2%

目的に応じて、適切な情報を得ることに課題があると考えられる。適切な情報を得るためには、情報の適否を見極めながら自分の目的に応じて整理することが大切である。

また、要約に課題がある場合は、第1学年読むことウの指導事項の復習を行うことも重要である。

○2(3) 書くことウ 根拠の適切さを考えて説明や具体例を加え、自分の考えが伝わる文章になるように工夫すること。

●平均正答率：6.6% 無回答率20.7%

根拠の適切さを考えることに課題があると考えられる。書こうとする根拠が自分の考えを支えるものであるかどうかを検討する場面を設定したり、その根拠が確かな事実や事柄に基づいたものであるかどうか等、適切さを考える観点を示したりすることが重要である。

◆ 授業改善のポイント

国語科では、学習指導要領が示す資質・能力（指導事項）がどういう力なのかを、教師が十分に理解したうえで「言語活動」を通して指導することが重要です。

「令和7年度教科等の重点事項 国語」で示した以下のことに取り組み、授業改善を行いましょう。

- ①資質・能力の育成に向けた言語活動の設定と充実
②児童生徒が自らの学びを把握できる「指導と評価の一体化」の実現
https://drive.google.com/file/d/1Z9H2HL2_iO_dHhunRdX2CSsP_LL4H5F/view

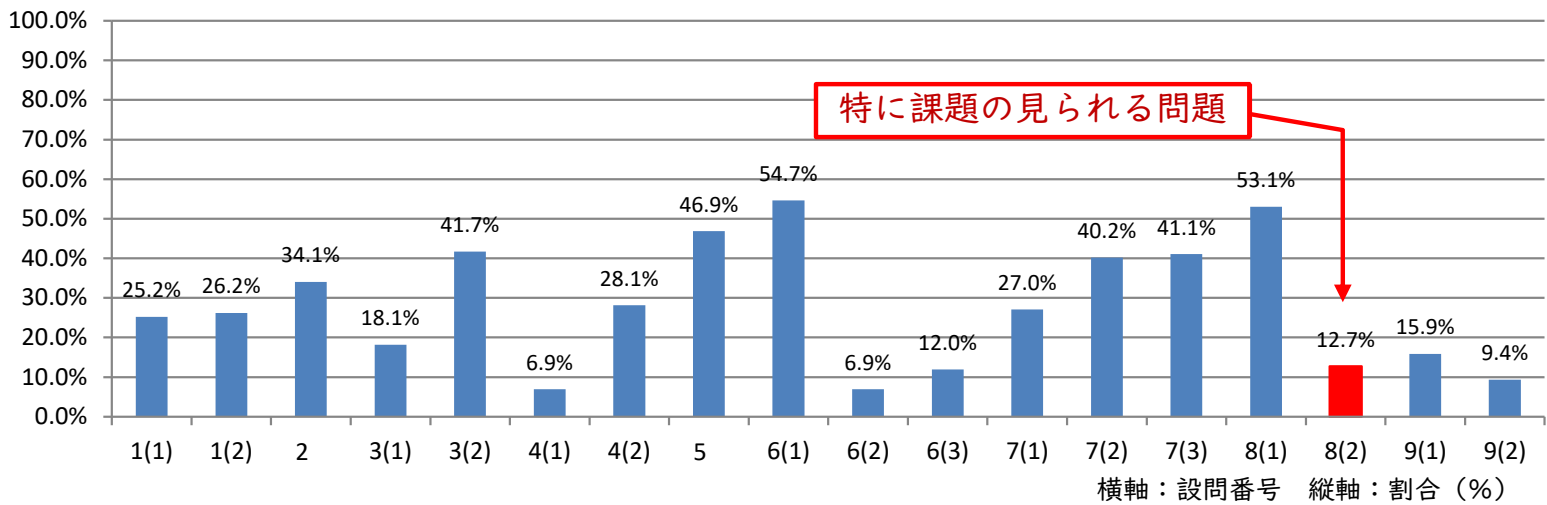


集計結果

◆ 設問ごとの正答率

平均正答率

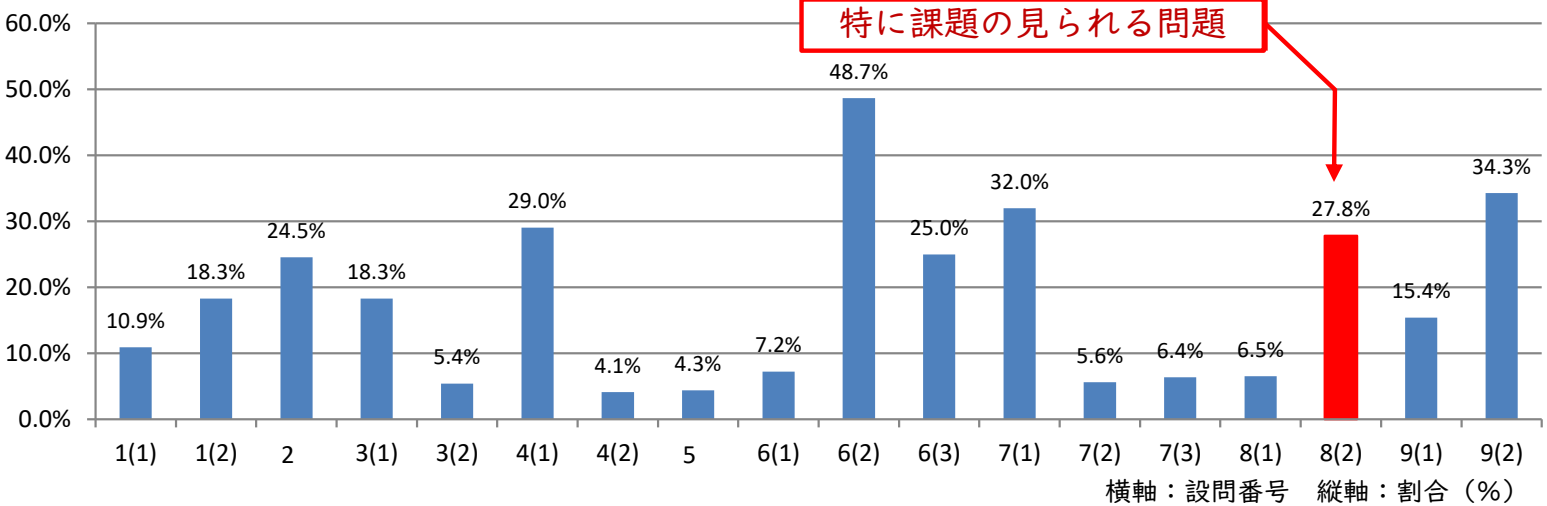
27.8%



◆ 設問ごとの無解答率

平均無解答率

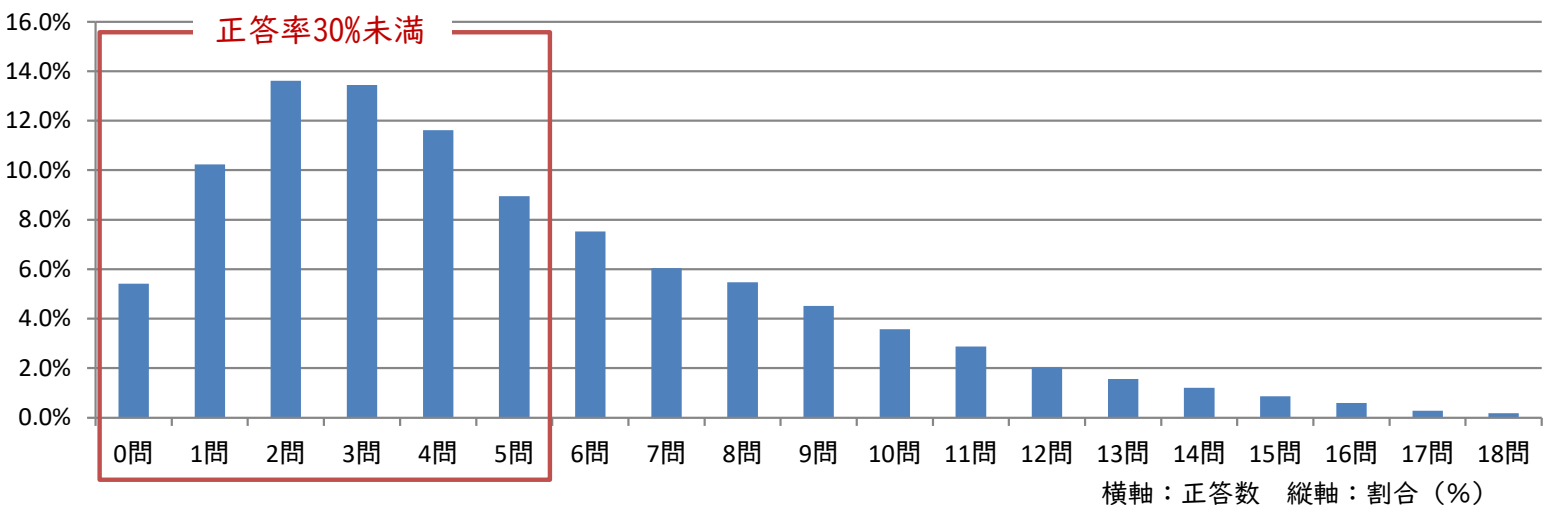
18.0%



◆ 正答数ごとの度数分布

正答率30%未満

63.2%



特に課題の見られる問題

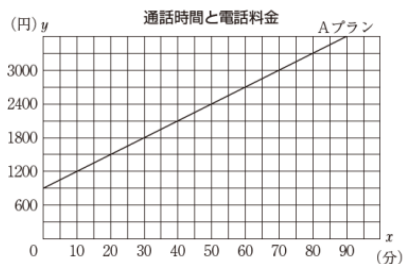
◆問題 8(2)

真悟さんは、携帯電話の料金プランに興味をもちました。

真悟さんが契約している通信会社には、A と B の 2 つの料金プランがあり、1 か月の料金プランは右の表のようになっています。

プラン	基本料金	通話料金
A プラン	900 円	1 分あたり 30 円
B プラン	2100 円	30 分までは無料 30 分を超えると、1 分あたり 15 円

真悟さんは、1 か月の通話時間が何分以上になれば B プランの方が A プランより電話料金が安くなるかを調べることにしました。そこで、1 か月に x 分通話するときの電話料金を y 円として、右のグラフを完成させました。



次の(1)、(2)の各問いに答えなさい。ただし、電話料金は、

$(\text{電話料金}) = (\text{基本料金}) + (\text{通話料金})$ の式にしたがって計算します。

- (1) 真悟さんがかいた A プランのグラフ上にあり、 x 座標が 30 の点の y 座標は何を表していますか。下の A から E までのの中から正しいものを 1 つ選び、記号で答えなさい。

- A 通話時間が 30 分のときの電話料金
 イ 通話時間が 30 分のときの基本料金
 ウ 通話時間が 30 分のときの通話料金
 エ 通話時間が 30 分のときの 1 分あたりの通話料金

- (2) B プランの方が A プランより電話料金が安くなるのは、1 か月の通話時間が何分より長くなったときか、上のグラフを完成させて求めなさい。また、1 か月の通話時間が何分より長くなったときを求める方法をグラフを用いて説明しなさい。

◆分析結果と課題

[第2学年] C関数 (1)イ(イ) 一次関数を用いて具体的な事象を捉え考察し表現すること。

◆趣旨 事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができるかどうかをみる。(「用いるもの」を明確にした上で、その「用い方」を記述する)

○正答率12.7%、無解答率27.8%であり、問題解決の方法をグラフを用いて説明することに課題の見られる。

●誤答分析

条件に合うグラフをかくことができなかつたり、2つのグラフの交点の座標の読み取りに間違いが見られたりするなどの誤答が考えられる。また、グラフを用いた説明では、 x 座標ではなく y 座標に着目したり、表現が不十分であつたりする誤答が考えられる。

◆指導改善のポイント

★問題解決のために数学を活用する方法を考え、説明できるようにする。

様々な問題を数学を用いて解決できるようにするために、問題解決の構想を立てたり、問題解決の過程や結果を振り返ったりする活動を取り入れることが大切である。その際、数学を活用する方法を説明できるように指導することが大切である。

本設問を使って授業を行う際には、BプランがAプランより電話料金が安くなる1か月の通話時間を求める方法について、2つのグラフをどのように用いればよいかを検討する場面を設定することが考えられる。具体的には、2つのプランの電話料金が等しくなる通話時間は2つの直線のグラフの交点の x 座標に表れることを確認し、「2つのグラフの交点の x 座標を読み取ればよい」などのように数学的に説明できるようにすることが大切である。その際、「交点の座標を読めば分かる」のような十分でない説明を取り上げて吟味し、「2つの直線のグラフの交点から x 座標を読めば分かる」のようなより洗練された表現に高めていくことが考えられる。また、グラフだけでなく、式を用いる方法についても説明ができるよう、あわせて指導することで、「2つの直線の式から連立方程式をつくり、それを解いて x の値を求めればよい」などのように数学的に説明できるようにすることも大切である。

さらに、このような数学的に説明ができるようにするためには、例えば、実際にグラフから2つのプランの電話料金が等しくなる通話時間を求めた後に、その方法を説明する活動を取り入れることが考えられる。

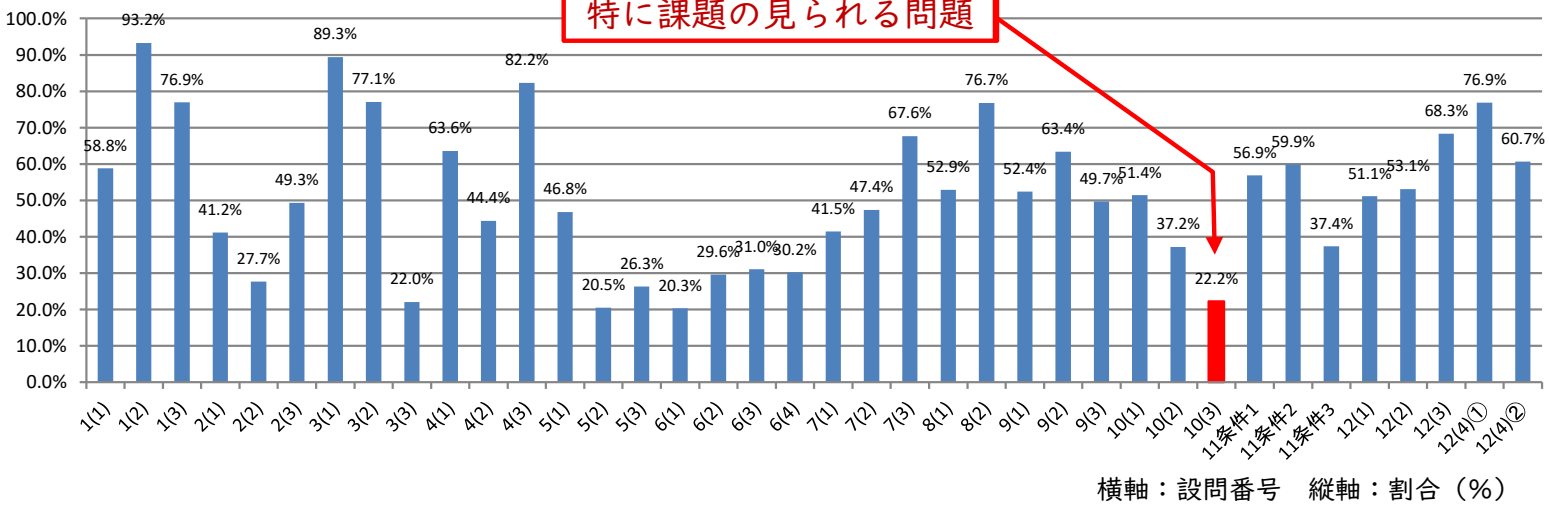
集計結果

◆ 設問ごとの正答率

平均正答率

51.5%

特に課題の見られる問題

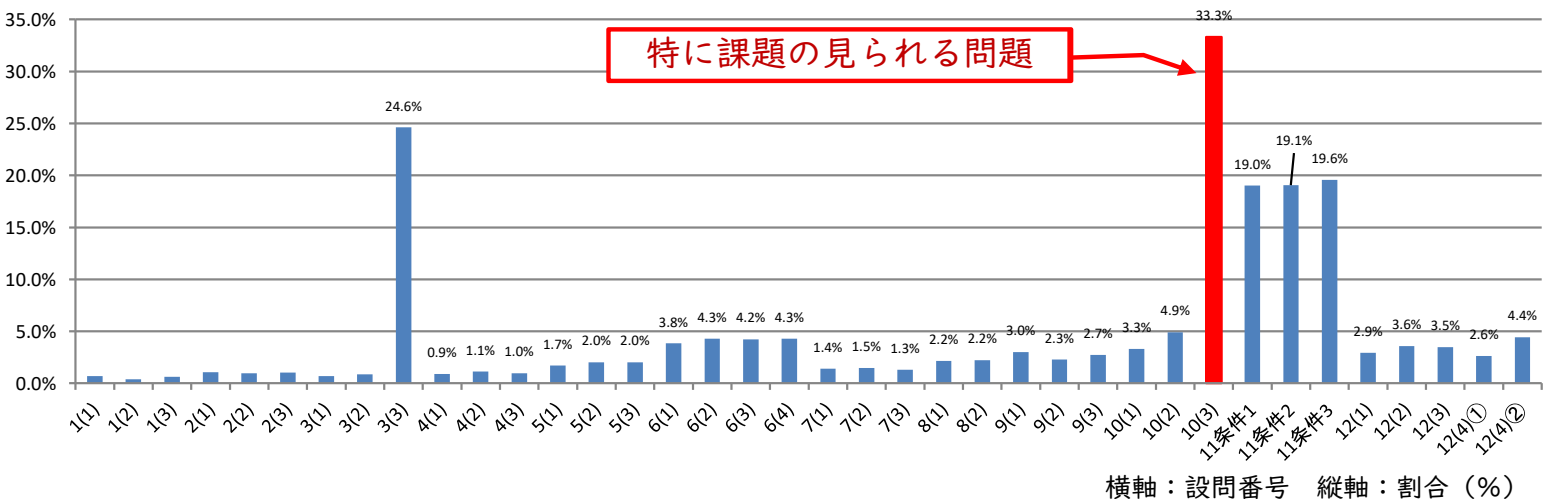


◆ 設問ごとの無解答率

平均無解答率

5.0%

特に課題の見られる問題

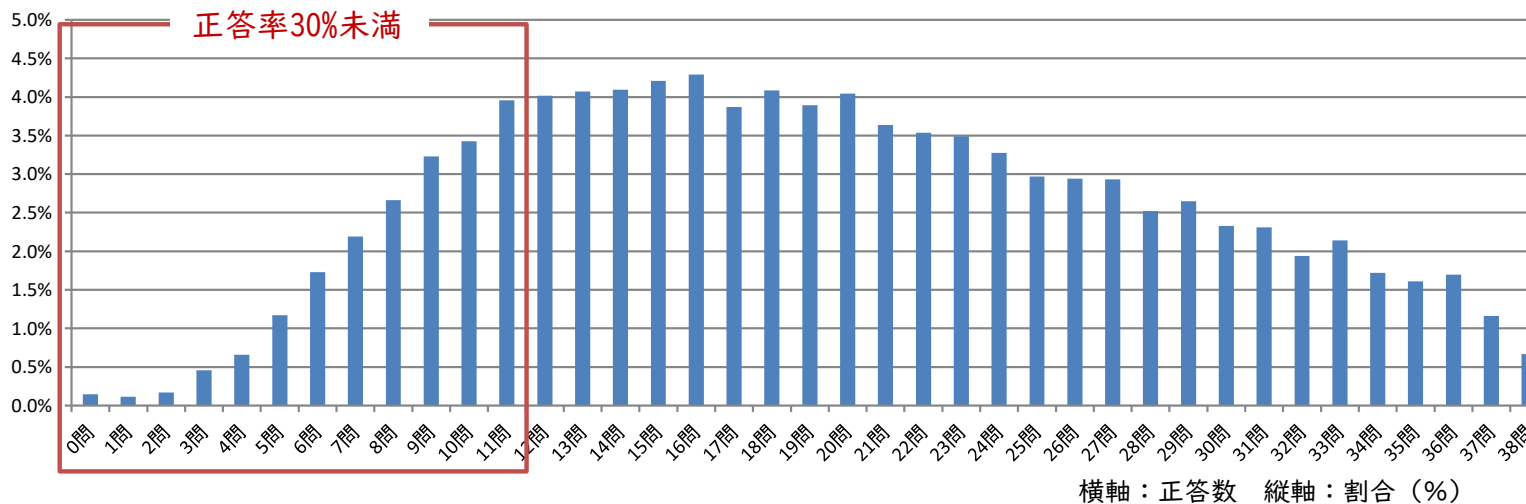


◆ 正答数ごとの度数分布

正答率30%未満

20.0%

正答率30%未満



特に課題の見られる問題

◆ 問題

10 次の英文は、真司 (Shinji) が英語の授業でスピーチをしたものです。
これを読んで、下の問いに答えなさい。

Now many people use *sugar for cooking. We often see white sugar, but brown sugar (or *kokuto* in Japanese) is also popular in Okinawa. Okinawa brown sugar is sweet and good. Many people in Okinawa love brown sugar and often use it. The Okinawa brown sugar has another good thing. It has a lot of *vitamins and *minerals. So it is good for your body. It is a great food when you are tired.

How do people make brown sugar? People use *sugar cane to make sugar. In Okinawa, you see a lot of sugar cane *fields. I can find a lot of sugar cane fields near my house, too. The sugar cane goes to the *factory to make sugar. First, people put sugar cane into a *machine. It becomes the juice of brown sugar. Then, they *boil it down for a long time. The color becomes *darker. After that, they *cool it down and make *blocks of sugar.

I went to an Okinawa brown sugar factory last year. I learned how to make sugar. I made a block of sugar. Making sugar took a long time, but it was interesting. After that, we got *waste like *fiber. I asked a man there, "Excuse me, will you use that?" He *answered, "Yes, that will be *fuel in the factory. So we don't make much waste." I think it is a good idea. It is *eco-friendly. What can we do to be eco-friendly? Using things *again and again like sugar cane is important. I love Okinawa sugar cane and brown sugar because they are good for us and the *earth.

*sugar 砂糖 *vitamin ビタミン *mineral ミネラル *sugar cane さとうきび
*field 畑 *factory 工場 *machine 機械 *boil ~ down ぐつぐつゆでる
*dark 濃い *cool ~ down ~を冷やす *block ブロック *waste 廃棄物
*fiber 繊維 *answer 答える *fuel 燃料 *eco-friendly 環境にやさしい
*again and again : 何度も何度も *earth 地球

(3) 下線部の問いに答えるように、あなたが環境にやさしいと思ってしていることを10語以上の主語と動詞を含む英文で答えなさい。ただし、文の数は問いません。

正答率 22.2% 無回答率 33.3%

【出題の趣旨】

まとまりのある文章を読んで、内容に沿った自分の意見を表現することができる。

【評価の観点】 思考・判断・表現

○正答率が4番目に低く、無回答率が最も高い問題である。

○日常的な話題について書かれた文章の概要を捉え、自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことに課題がある。

○質問に対する自分の考えを持っていないのか、英文を書くための知識・技能が身に付いていないのか等、課題を見極める必要がある。
※前年度も類似の課題が挙げられている。

◆ 授業改善のポイント

【賛田悠調査官資料より】

- ・読んだことを基に自分の考えとその理由を書く際には、読み手として主体的に考えたり、判断したりしながら理解したことを基に、**コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて表現する**ことが重要である。
- ・読む目的に応じて要点を捉えた上で、内容に対する感想や賛否、自分の考えなどを話したり書いたりして表現するなど、**領域を統合した言語活動を行う**ことが大切である。
- ・書いた英文を推敲する際には、**コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて適切な内容になっている、正確に書くことができるか**を指導する必要がある。

日頃から、自分の考えや気持ち、感想や賛否などを伝え合う活動を設定しましょう。



生徒同士で交流することで、新しい視点を得られることがあります。

令和5年度全国学力・学習状況調査調査結果を踏まえた
学習指導の改善・充実に関する指導資料
～学習過程を意識した授業づくり～



https://www.nier.go.jp/kaiatsu/shidousiryu/eigo/pdf/r07eigo_All.pdf



本県における、令和7年度外国語科の重点事項は次の2つです。これまでの取組の成果と課題を生かし、更に授業改善を進めてまいりましょう。

- ①コミュニケーションを図る資質・能力の育成に向けた指導の充実
- ②言語活動における学習状況の見取りを生かした指導と評価の充実

<https://drive.google.com/file/d/1C8gNKTZ2BYsiSPwPZU8Razatq52MWkaD/view?usp=sharing>



令和7年2月に公表されました最新の指導資料です。
映像資料と指導資料が掲載されています。御活用ください!!